



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 荏原実業株式会社

コード番号 6328 URL <http://www.eik.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 永島 弘人

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 総合企画室長 (氏名) 大野 周司

TEL 03-5565-2885

四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	20,240	△0.2	867	△30.4	953	△26.8	671	△24.2
27年12月期第3四半期	20,288	△6.7	1,245	60.5	1,302	61.5	885	114.8

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 626百万円 (△7.2%) 27年12月期第3四半期 674百万円 (△6.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	100.36	—
27年12月期第3四半期	133.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	20,496	9,884	48.2
27年12月期	23,001	9,507	41.3

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 9,884百万円 27年12月期 9,507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	22.50	—	22.50	45.00
28年12月期	—	22.50	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	3.7	1,360	△4.1	1,450	△4.1	930	△4.2	139.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期3Q	6,715,000 株	27年12月期	6,715,000 株
28年12月期3Q	7,692 株	27年12月期	51,492 株
28年12月期3Q	6,693,521 株	27年12月期3Q	6,649,201 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
会計方針の変更 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年1月1日から平成28年9月30日まで）におけるわが国経済は、政府の各種経済政策や日銀の金融政策により、雇用や個人所得の情勢は緩やかではあるものの回復基調で推移しておりましたが、中国及びアジア新興国や資源国の景気減速懸念、円高進行を受けた企業収益の下振れ、株価の不安定な動きなどによって、先行きは不安定かつ不透明な状況へと変化してきました。

当社を取り巻く環境装置機械業界においては、公共分野では、国土強靱化政策の下、上下水道に関連する施設の更新や耐震化案件の増加が見られましたが、全体としては公共投資の動きは鈍い状況が続いております。また、民間分野では、都市再開発案件等一部に活発な動きも見られますが、景気の先行きの不透明感を反映し、設備投資等に停滞感が見られております。

このような事業環境の下、当社グループは、企業価値の向上を目指し、以下の戦略に取り組んでおります。

## (環境関連)

自社製品を核とした収益基盤を拡大するために、戦略製品である省エネプロワ、生物脱硫装置の拡販を図るとともに、メンテナンス・サービス体制の強化を図る。

## (水処理関連)

西日本エリアでの営業基盤の確保と復興・防災需要の取り込みのために、製品力の強化、技術者の育成、プロジェクト管理の徹底、集中購買の実施に努める。

## (風水力冷熱機器等関連)

都市再開発、オリンピック需要などによって拡大する建設需要を取り込むために、再開発案件、オリンピック需要へのアプローチを強化するとともに取扱製品の拡充を図る。

これらの活動の結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は、199億95百万円（前年同期比1.9%減）、売上高は202億40百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は8億67百万円（前年同期比30.4%減）、経常利益は9億53百万円（前年同期比26.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億71百万円（前年同期比24.2%減）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

## (環境関連)

環境関連製品の製造・販売を手掛ける当セグメントは、受注高においては、ボエフ脱臭関連製品は減少したものの計測器、省エネ・水資源、水産関連製品は増加し、売上高においては、計測器関連製品は増加したもののボエフ脱臭、省エネ・水資源、水産関連製品が減少しております。

これらの結果、当セグメントの受注高は35億22百万円（前年同期比5.8%増）、売上高は31億91百万円（前年同期比19.0%減）、売上高の減少に伴いセグメント利益は46百万円（前年同期比60.2%減）となりました。

## (水処理関連)

上下水道向けの設計・施工を手掛ける当セグメントは、受注高においては、公共投資の動きが鈍く、また、売上高においては、前期末の受注残高が多かったこと（前年同期比6.9%増）が影響し前年同期比で増加しております。しかし低利益率の大型物件が売上計上されたため、売上総利益率が低下し、セグメント利益は減少しております。

これらの結果、当セグメントの受注高は86億3百万円（前年同期比0.6%増）、売上高は91億79百万円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益は6億82百万円（前年同期比27.3%減）となりました。

## (風水力冷熱機器等関連)

主にポンプ、冷凍機、空調機器などを商社として販売する当セグメントは、受注高においては、首都圏の再開発案件が引き続き堅調に推移したものの、民間の設備投資に停滞感が見られ、前年同期比で減少しております。売上高においては、受注高は減少しておりますが、前期末の受注残高が多かったこと（前年同期比11.1%増）が影響し増加となりました。

これらの結果、当セグメントの受注高は78億70百万円（前年同期比7.5%減）、売上高は78億69百万円（前年同期比3.0%増）、セグメント利益は6億16百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
環境関連	3,522	105.8	2,306	106.2
水処理関連	8,603	100.6	10,424	102.8
風水力冷熱機器等関連	7,870	92.5	4,497	91.6
合計	19,995	98.1	17,228	100.0

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ25億4百万円減少し204億96百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加6億40百万円、受取手形及び売掛金の減少28億81百万円、棚卸資産の減少1億54百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ28億81百万円減少し106億12百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少20億70百万円、未払法人税等の減少2億66百万円、短期借入金の減少86百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億76百万円増加し98億84百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益6億71百万円の計上及び剰余金の配当3億1百万円等であります。この結果、自己資本比率は48.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月8日付「平成27年12月期 決算短信」にて発表しました平成28年12月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## 会計方針の変更

## (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

## (減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,744	4,385
受取手形及び売掛金	9,207	6,325
商品及び製品	948	758
仕掛品	194	200
未成工事支出金	588	550
原材料及び貯蔵品	127	194
繰延税金資産	62	90
その他	172	169
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	15,043	12,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,966	2,958
減価償却累計額	△1,418	△1,486
建物及び構築物 (純額)	1,548	1,471
機械装置及び運搬具	82	107
減価償却累計額	△50	△59
機械装置及び運搬具 (純額)	32	47
工具、器具及び備品	457	481
減価償却累計額	△367	△392
工具、器具及び備品 (純額)	90	89
土地	1,423	1,421
その他	16	6
減価償却累計額	△13	△4
その他 (純額)	2	1
有形固定資産合計	3,097	3,031
無形固定資産		
投資その他の資産	44	37
投資有価証券	2,882	2,783
保険積立金	1,083	1,130
投資不動産 (純額)	666	655
繰延税金資産	7	5
その他	294	287
貸倒引当金	△119	△109
投資その他の資産合計	4,815	4,753
固定資産合計	7,957	7,823
資産合計	23,001	20,496

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,590	6,520
短期借入金	1,176	1,090
未払法人税等	325	58
未払消費税等	191	143
前受金	1,296	1,264
賞与引当金	-	183
工事損失引当金	4	24
その他	1,006	529
流動負債合計	12,590	9,813
固定負債		
繰延税金負債	479	442
役員退職慰労引当金	196	187
退職給付に係る負債	154	99
その他	73	69
固定負債合計	902	798
負債合計	13,493	10,612
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,001	1,001
資本剰余金	831	831
利益剰余金	6,882	7,251
自己株式	△64	△12
株主資本合計	8,650	9,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,007	943
退職給付に係る調整累計額	△150	△131
その他の包括利益累計額合計	857	812
純資産合計	9,507	9,884
負債純資産合計	23,001	20,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	20,288	20,240
売上原価	15,187	15,379
売上総利益	5,100	4,860
販売費及び一般管理費	3,855	3,993
営業利益	1,245	867
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	32	35
投資不動産賃貸料	57	63
受取保険金	36	12
その他	23	17
営業外収益合計	152	130
営業外費用		
支払利息	8	6
不動産賃貸費用	33	29
貸倒引当金繰入額	37	-
支払手数料	3	2
その他	12	6
営業外費用合計	95	44
経常利益	1,302	953
特別利益		
固定資産売却益	1	-
特別利益合計	1	-
特別損失		
固定資産処分損	0	-
投資有価証券評価損	1	-
特別損失合計	1	-
税金等調整前四半期純利益	1,301	953
法人税、住民税及び事業税	448	293
法人税等調整額	△32	△11
法人税等合計	415	281
四半期純利益	885	671
親会社株主に帰属する四半期純利益	885	671



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	885	671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△219	△63
退職給付に係る調整額	8	18
その他の包括利益合計	△210	△45
四半期包括利益	674	626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	674	626
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	環境関連	水処理関連	風水力冷熱 機器等関連			
売上高						
外部顧客への売上高	3,941	8,704	7,642	20,288	-	20,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	3,941	8,704	7,642	20,288	-	20,288
セグメント利益	116	938	640	1,695	△449	1,245

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	環境関連	水処理関連	風水力冷熱 機器等関連			
売上高						
外部顧客への売上高	3,191	9,179	7,869	20,240	-	20,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	3,191	9,179	7,869	20,240	-	20,240
セグメント利益	46	682	616	1,345	△478	867

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。